

地域で!

クラスに 2~3人いる 読み書きが苦手な こどもたち

発達性読み書き障害の
理解を深めるシンポジウム



参加費
無料

6.17 [金]

令和4年
(2022)

区民産業プラザココネリ

10:00 → 12:30

手話通訳・要約筆記 あり [会場のみ]

～障害を知り、私たちに何ができるかを考える～



発達性読み書き障害とは、聞いて理解することや、
発話で伝えることは問題がないにも関わらず、
文字や文章を読む・書くことに困難のある障害です。
ある日、ボランティアセンターに、ひとりのお母さんから
「息子の教科書にルビをふっているのですが、
1人では限界で…ボランティアを紹介してもらえませんか？」
という相談が入りました。まずは自分たちが知ることからだ!
私たちは動き始め、少しずつ仲間がふえていきました。
今度は地域の中でこの動きを広げたい。
このシンポジウムを通して、障害について知り、
私たちに何ができるか一緒に考えませんか?

対象
関心のある方
どなたでも



会場またはオンラインからお選びいただけます。くわしくは、裏面をご覧ください。

第1部 基調講演

発達性ディスレクシアの基礎知識と体験談
～当事者だからわかること～

関口 裕昭 氏

(中野区療育センターゆめなりあ 言語聴覚士)



第2部 シンポジウム

誰にとっても暮らしやすい地域に
～私たちに何ができるかを考える～

シンポジスト

坂口 倅子 氏

(当事者家族の立場から)

村松 洋一 氏

(当事者の立場から)

石井 眞弓 氏

(元教員の立場から)

コメンテーター 宇野 彰 氏 (NPO法人LD・Dyslexiaセンター理事長)

主催 練馬区社会福祉協議会 練馬ボランティア・地域福祉推進センター／東京練馬中央ロータリークラブ

後援 練馬区教育委員会／NPO法人LD・Dyslexiaセンター／認定NPO法人エッジ

協力 アーバンシステム株式会社／えるでい～学習障害について考える会～

講師紹介



関口 裕昭 氏

埼玉県生まれ。高校生の時に発達性ディスレクシアと判定。現在は言語聴覚士として中野区の療育センターに勤め、個別療育、保育所等訪問事業に携わっている。日本ディスレクシア協会、神奈川県ILD協会、第1回ディスレクシアデイをはじめ、学校、保育園、福祉施設などで、実体験をもとに当事者の視点と支援者の視点を掛け合わせた講演活動を行っている。

参加申込方法

『発達性読み書き障害
早わかりガイド』を
プレゼント!

会場またはオンラインからお選びいただけます。

① 会場参加 定員:150人 先着順

電話またはFAXでお申込み下さい

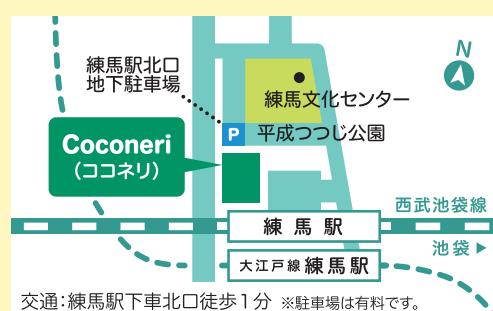
TEL **03-3994-0208**

FAX 03-3994-1224 **※切 6月10日[金]**

- ①お名前 ②お住まいの地域 ③連絡先
- ④参加動機 ⑤講演会を知ったきっかけ
- ⑥講師へ質問したいこと
- ⑦その他(配慮が必要なことなど)

※点字資料その他配慮が必要な方は6月3日(金)までにお問合せ下さい

会場/練馬区立区民産業プラザココネリ
ココネリホール(練馬区練馬1-17-1)



② オンライン参加 (YouTubeライブ配信)

QRコードもしくはURLからアクセスし、
必要事項を入力の上お申込み下さい
※peatixのアカウント登録が必要です

<https://yomikaki17.peatix.com>



「ロータリー&ボラセンよりひとこと」

私たちが、まずは「知る」こと。
それが大きな力になります!
ご参加お待ちしております。

問
合
せ

練馬ボランティア・地域福祉推進センター
TEL 03-3994-0208/FAX 03-3994-1224

練馬区社協キャラクター

